

女子学生の衣料に関する調査（日韓中台における国際調査）の概要と結果

常任委員会 調査部会 委員長 大橋正男

はじめに

一般社団法人 日本衣料管理協会は、会員大学の協力のもとに TA (Textile Advisor:衣料管理士) の養成課程の学生とその父母を対象に、衣料の取得・所持・使用の実態を把握するため「衣料の使用実態調査」を 1978 年から実施している。調査対象は限定されているが、その中立性と的確性、継続性で高い評価を得、繊維・ファッション産業をはじめ産官学で広く活用されている。協会は 2011 年度に創立 40 周年を迎え、その記念事業のひとつとして、それまでの国内だけではなく、韓国・中国・台湾を加えた国際調査を実施した。よって、今回の調査は、さらに貴重性と存在性を増すことになった。

今回の調査で明らかになった主な項目について以下に記す。

1. 調査の概要とプロフィール

調査対象 4カ国合計 3,018人

日本	全国の 34 校の衣料管理士養成過程の女子学生	949 人
韓国	ソウル、テグの 4 校の女子学生	671 人
中国	北京、上海、浙江、西安の 4 校の女子学生	800 人
台湾	台北、台南、高雄の 3 校の女子学生	598 人

(韓国・中国・台湾の学生は、学校法人 文化学園と提携また協力関係にある学校の学生)

調査時期

日本・中国・台湾・・・2011 年 12 月末から 2012 年 1 月初旬
韓国・・・・・・・・・・・・・・2011 年 11 月中旬～2011 年 12 月中旬

プロフィール

国	平均年齢	被服系学生の割合
日本	20.3 歳	88.0%
韓国	21.5 歳	71.2%
中国	20.8 歳	80.8%
台湾	20.5 歳	80.4%

今回の調査は結果を分析するのに十分な対象数を持ち、また、各国 20 代の前半の女子学生といった最もファッションに興味を示す世代である。なおかつ、ほとんどが被服系専攻の学生であり、日本以外の国では比較的到高所得世帯の子女と思われ、よりファッションへの感度が高い層を対象としている。すなわち、この調査結果は、各国の今後のファッションマーケットを占う重要な指標を示唆するものと思われる。

2. 調査の結果

以下に特徴的な主な結果を紹介する。

(1) ファッション進化度合い

各国の世帯所得や各個人のファッションへの関心度がファッションの進化度合いを示すものとして挙げられるが、この調査でも、年間衣料購入支出の高さ、品目別購入価格の高さ、衣料の所持・購入でのボトムのスカーツ比率の高さ、ファッション情報の取得量の多さで示すことができそうである。

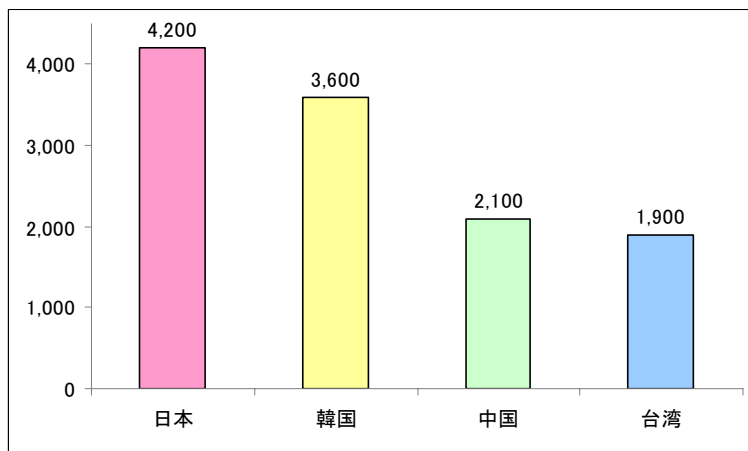
・年間(2011年)の平均衣料支出は、分布をみると大きな2つの山が各国ともみられ、衣料支出が2層に分かれている。日本約11万円、韓国約180万ウォン(13万円)、中国約3,200元(4万円)、台湾約11,000台湾ドル(3万円)となる。ただし、特に韓国では明瞭に大きな2つの山がみられ、高支出層の1校を除くと平均約9万円となる。

※この調査での円換算はJETRO(日本貿易振興機構)による2011年期中平均為替レートによる。

・平均購入価格は、比較的購入枚数が多い「スカーツ」で比較する(図1)と、日本、韓国、中国、台湾の順で高く、他のスーツ、ジャケット、パンツ、ジーパン、Tシャツも同様な傾向であった。また、衣料支出と同様に2つの山が存在している。

図1 スカーツの平均購入価格

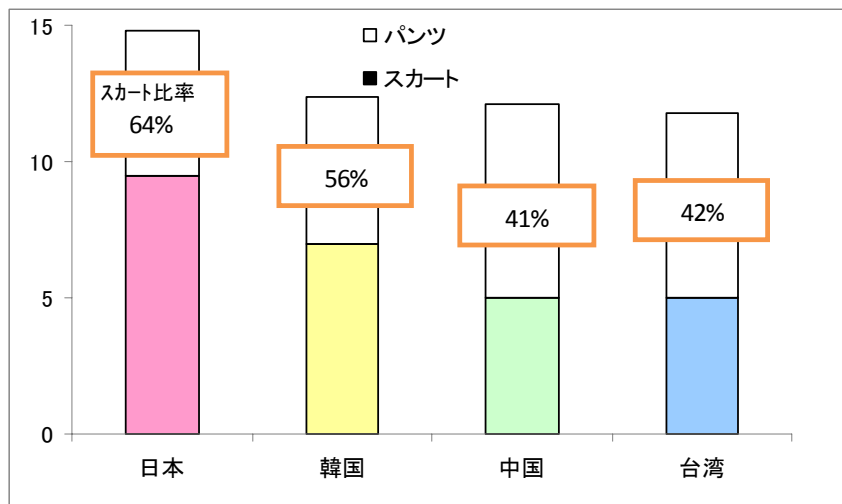
単位:円



- ・ 所持衣料のうち、ボトムにおけるスカート比率を比較する(図2)と、日本 64%、韓国 54%、中国 41%、台湾 42%となっており、この傾向は購入衣料のボトムにおいても同様な傾向がみられる。つまり、スカートの比率が高いほど、ファッション進化の度合いも高くなるといえる。

図2 ボトム類の一人当たり平均所持枚数

単位:枚数



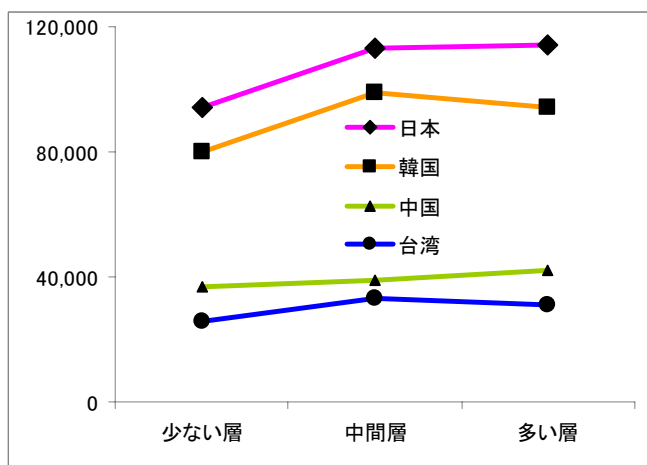
(注) スカート比率はスカート/(スカート+パンツ)で算出される。

- ・ **ファッション情報量**の多さが、概して年間の衣料支出の多さにもつながり、ファッション進化の高さを示唆することになる。

ファッション情報の取得方法の種類を13の選択肢で聞いており、各国その選択肢を選んだ数が多い層、中間層、少ない層で分けると、衣料の所持枚数と年間衣料支出は、概して正の相関を示している(図3)。※例えば、日本では、ファッション情報の取得方法の種類数が6つ以上を多い層(全体に占める割合は35%)、4~5つを中間層(同36%)、3つまで(同29%)を少ない層としている。

図3 ファッション情報量の層別による年間衣料支出

単位:円 (注)韓国は衣料の高支出層の1校を除いてのデータ



(2) 衣料の購入先やそのイメージなど流通については、

出店状況など各国の流通業界の進展を反映しているものと思われる。

・衣服(普段着)の購入先は、各国の特徴が出ている。

各国上位3位までをみると、表のようになる。

表 普段着の購入先割合上位3位(2つまでの複数回答)

	日本	韓国	中国	台湾
1位	専門店・チェーン店 (86%)	無店舗販売(ネット・通 販)(54%)	専門店・チェーン店 (54%)	小規模洋品店(76%)
2位	百貨店(33%)	百貨店(47%)	百貨店(51%)	無店舗販売(ネット・通 販)(53%)
3位	ディスカウント・アウトレット (24%)	小規模洋品店(46%)	無店舗販売(ネット・通 販)(45%)	専門店・チェーン店 (31%)

日本以外の韓国・中国・台湾で約5割の人が「無店舗販売」で購入しており、ネット販売がかなり浸透していると思われる。ファッション情報を「インターネット」で得ている割合が中国・台湾9割、韓国7割と高く、それを裏付けている。ちなみに日本は5割である。「無店舗販売」のイメージは、各国とも「高級感がある」「品質がよい」や「デザイン・カラーがよい」は評価していないものの、「品揃えが豊富である」「価格がリーズナブルである」で評価しており、この評価している2つのイメージ項目が日本以外の国では約7割を超えている。

有店舗での購入では、「百貨店」が韓国、中国で高いが、「百貨店」のイメージは、韓国が「高級感がある」「品質がよい」で評価、中国は「高級感がある」ではなく「品揃えが豊富である」で評価しており、業態そのものの内容が異なることがうかがい知れる。また、「小規模洋品店」では韓国、台湾が高く、日本にはあまり見られない街のマーケットが存在し、若い女性に受け入れられていることがわかる。

(3) 将来の(10年後)の職業や居住地については、日本は保守的、内向きで、他の国は外を向いている。日本は家庭に向けられている傾向があるが、他の国では有職志向が高く、特に中国では「自由業・自営業」が約4割と最も高く、フリーランスや起業意識の高さが見受けられる。

また、「10年後に住みたい場所」については、日本では約9割が「国内」としているのに対して、他の国では「外国」志向が日本より高く、特に台湾では約6割もいる。具体的な国・地域で分類すると韓国が「北米」中心、中国、台湾が「欧州」志向が強く、3カ国の中で日本を居住地と考えているのは台湾の一部に限られている。

(4) その他

上記調査項目の他に携帯電話やSNSなどの「コミュニケーションツールの利用」、「好きなファッションの色」、「通学着用時に重要視すること」、洋服・下着・アクセサリなどの「買い物の仕方(見ながら買う、衝動買い、価格、試着、ブランド、バーゲンなど)」、6品目(スーツ、ジャケット、スカート、パンツ、ジーパン、Tシャツ)の「所持枚数」と「購入(枚数、組成繊維、購入場所、価格)」、「衣料の廃棄方法」を調査している。

[日本衣料管理協会 会報 第159号(2013年1月号)より抜粋]

【女子学生の衣料に関する調査（日韓中台における国際調査） 調査項目詳細】

- Q 1. ①あなたの年齢を教えてください。
- Q 1. ②あなたの専攻を教えてください。
- Q 1. ③あなたが衣料の購入にかかるお金は1年間でどのくらいですか。
- Q 2. あなたは現在どのようなことに関心を持っていますか。
- Q 3. あなたは、コミュニケーションツールとして、以下にあげるA～Gの手段をどの程度利用していますか。
- A. 携帯電話（通話）
 - B. 携帯電話（メール）
 - C. 固定・IP電話（通話）
 - D. PC（メール）
 - E. Blog, Twitter, Facebook, Skype など
 - F. 手紙・葉書
 - G. 直接会って話す
- Q 4. あなたはファッション情報を何から得ていますか。
- Q 5. あなたはどのような色のファッションが好きですか。
- Q 6. 通学着を着用するとき、どんなことを重要視していますか。
- Q 7. あなたは、次のA～Eの商品を買うとき、どのような買い物の仕方をしますか。無店舗販売の購入を含みます。
- A. 洋服
 - B. 下着類
 - C. バッグ
 - D. 靴
 - E. アクセサリー
- Q 8. あなたは、衣服・化粧品をどこで購入することが多いですか。
- ・衣服（普段着）
 - ・衣服（おしゃれ着）
 - ・化粧品
- Q 9. あなたは、衣料品を販売する次のA～Eにどのようなイメージを持っていますか。
- A. 百貨店
 - B. スーパー・量販店
 - C. 専門店
 - D. ディスカウントショップ・アウトレット
 - E. 無店舗販売（インターネット・通信販売等）

Q10. あなたは下記の6品目について、2011年11月末(韓国)／12月末(日本・中国・台湾)時点で、何枚所持していますか(春夏物を含む)。

1. スーツ
2. ジャケット
3. スカート
4. パンツ
5. ジーパン
6. Tシャツ

Q11. そのうち2010年12月から2011年11月(韓国)/2011年1月から2011年12月(日本・中国・台湾)の1年間に、あなたが購入した衣料(もらったものを含む)について、次の①～④の質問に教えてください。

- ①品目(購入枚数)
- ②表地の組成繊維
- ③購入場所
- ④価格

Q12. 使わなくなった衣料をどのような方法で処分していますか。

Q13. あなたは、次のうちどのような女性に共感・憧れを感じますか。

Q14. あなたは10年後どのような暮らし向きをしたいと考えていますか。

- ①あなたは、10年後にどのような仕事をしたいと思いますか。
- ②あなたは10年後どこに住みたいと思いますか。
- ③その条件の中で、あなたは10年後どのような暮らしをしたいと思いますか。

この調査の詳細は報告書にまとめておりますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-11-13-205

一般社団法人日本衣料管理協会 調査担当

TEL 03-3437-6416 / FAX 03-3437-3194

E-mail jasta@mtb.biglobe.ne.jp

※ 無断でのデータ、文章の引用・使用を禁じます。

※ 本原稿の内容を引用される場合は、協会の了承を受けてください。